

# 事業の概要

3DCG、映像、Webプログラムなどに代表される高度なデジタルクリエイティブ教育について、デジタルハリウッド株式会社(本社東京)によるオンライン講座「デジハリオンラインスクール」を造形学部の教育と連携して3年間開講する。事業終了時まで成果を検証し、十分と判断できる場合は正課での実現を検討する。受講生は年間で60時間から90時間の内容を自宅で視聴して制作を行い、同講座の講師からの添削や講評を受けるとともに、学部教員による技術習得度合いの確認を受ける。

## 事業実績の概要

### 令和5年度 実施スケジュール

- 6月14日(火) 講座説明会
- 7月10日(月) 受講生募集開始
- 17日(月) 受講生募集締切
- 25日(火) 受講生決定

### 講座開講準備

- 9月 8日(金) キックオフイベント
- 9月15日(金) オンライン講座開始

### 学修期間(およそ4ヶ月半)

- 2Dイラスト制作講座: のべ70時間
- 3DCG制作講座: のべ60時間
- 動画制作講座: のべ100時間

- 1月31日(水) 作品提出締切(18時まで)
- 2月 6日(火) 作品講評会実施



※受講生への連絡方法として、大学ポータルサイト、メール、Microsoft Teamsを利用。

学生は、オンライン教材視聴後、オリジナル作品の制作のためにキャラクターイメージやラフ画、動画制作用の絵コンテ等を作成し、課題制作を開始する。

制作中の質問等については、造形学部教員が対応(高度な技術サポートに関しては、デジタルハリウッドへ確認)。



作品講評会の様子

本講座の目的は、イラスト、3DCG、動画制作等のデジタル技術必要とする進路を希望する受講生の教育的満足度を高めるとともに、受講成果をコンペ受賞や進路実績に繋げることで、学生募集広報の効果を生み出すことにある。運営は学部教員がデジタルハリウッドと協力して講座内容と運営方法を学部のDP、CPに準じて最適化し、正課外のオンライン講座として学生に案内した。受講生はトータル60～90時間の内容を自宅で視聴して課題制作を行い、同講座の講師からの添削や講評を受けるとともに、学部教員による技術習得度合いの確認を受けた。作品講評後の受講生からの本講座へのフィードバックでは、「イラスト制作に於いて、今まで使ったことのないツールの使い方や人体を描くときに意識すること、ポートフォリオを作るときのコツなどを聞いた」や「講師からの意見は視野が増えるものだったので、意見を貰えることが嬉しかった」というポジティブな意見に合わせて、「講座の中間くらいにデジタルハリウッドの講師でなくても、途中経過を見せられる場がもっと欲しかった」や「講師との連絡がしづらい」、「ソフトウェアを確実に習得するために何個か課題を出してフィードバックが欲しかった」など、本講座の進行等についての反省点とも言えるフィードバックを得ることができた。今年度の開講に向けたデジタルハリウッドとのMTGに於いても検討事項として、これらの対応・スケジュール調整等を協議している。